

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”の代表者が、毎年12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。（各会派の持ち時間は〔基礎時間40分＋（会派所属議員数－1）×5分〕と、その1.5倍の時間を合計したものが各会派の持ち時間となります。）

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張等を同じくする議員で構成された団体のこと。1人でも会派を作ることができますが、代表質問をすることはできません。



閉鎖予定の塩尻市社会福祉センター

どのようになっていくか。

答 これまで、5月13日に、塩尻東、大門各区長会で説明を行い、さらに6月には、北小野区長会への説明を予定している。

問 地元みどり湖区などへの説明については。

答 地元区からの説明要請があった場合には、今後においても機会をいただければ、民生児童委員協議会をはじめ、地域の皆さんと区長を交えて話し合いをしていきたい。

◆ 移住・定住対策について

問 自治体間競争に勝つための施策の考えと、特徴的な取り組みの考えは。

答 全国的な人口減少時代になり、塩尻市が選ばれるためには、特徴である生産年齢人口の高さを将来にわたり確保し、特に子育て世代や若者に

選ばれ続ける市をつくるのが大事である。これまで、地域ブランドの構築に取り組み「ワイン・漆器・農産物」等地場産品の魅力が市場に浸透しイメージアップにつながった。そのような取り組みを戦略的に行うため、本年度よりシティプロモーションを推進する。

活動方針はリサーチ、個別ブランドの構築、シティセールス、コーディネート、内部コミュニケーションの5つの活動を考えている。

市政同志会 2015
 質問者 村田 茂之
 中原巳年男・篠原敏宏
 持ち時間125分

子育て したくなる街 日本一への展望

◆ 子育てしたくなる街、日本一を目指す

問 市長の第五次総合計画スタート時点での展望と課題は。

答 私が掲げたマニフェストの具体化では、総合計画基本戦略A「子育て世代に選ばれる地域の創造」で子育て支援や教育環境の強化・充実を図

る。自治体間競争でフロントランナー役を果たし、分娩施設がないことを緊急課題とする。

問 中期戦略のロードマップとマイルストーンは。

答 3年を1期とした10プロジェクト、25施策、76の主な取組みを展開し、市民の主観による指標と統計指標を複数設定しPDCAマネジメントを徹底する。

問 事業相互の連携とPMO機能については。

答 関係する複数の部署が相互に連携し最大の効果をめざすが、各事業部の副事業部長や次長からなる政策調整プロジェクト会議がその役割を果たしていく。

◆ 地域や市民団体等との協働

問 他自治体との競争では究



日本一の富士撮影スポット、高ボッチから

極的に地域力、市民団体との協働が優劣をつける要素となると考えるがどうか。

答 まだまだ浸透していないコミュニティスクールが地域連携のキーになる。また、子育て支援センターを中心に、子育ての不安、負担減のサポートを行っていくが、暮らしの拠点である各地域で子育て中の親を支え、子どもを見守ってくれる地域の皆様の地域力が最重要ポイントのひとつになる。

◆ 重要基盤マネジメントシステム

問 本計画の推進上、事業評価システム及び人材育成計画が重要と考えるがどうか。

答 成果志向、資源の適正配分、職員の意識改革など基本的な考え方に基つき、新たな制度設計を進行中である。また人材育成に関しては、時代変化、多様化する地域課題の解決のため目指すべき職員像を共有化し独自の研修を計画、実施している。

◆ 高ボッチの観光ビジネスモデル開発

問 日本一の富士撮影スポットと言われる高ボッチを写真家をターゲットにした観光ビジネスモデルにしたらどうか。